

YUME VISION PROGRAM

ユメ

ヴィジョン

プログラム

PART4

“起業したい”という熱い思いとアイデアはあるけれど、まだ形にできていない…そんな女性起業家を大阪信用金庫が全力でサポートする半年間全6回のプログラム「YUME VISION PROGRAM」の第4回が開催されました！

ビジネスとは切っても切れない “お金の話”と向き合ってみる

これまでのカリキュラムで参加者の皆様には「ビジネスプランの生み出し方」「自分の想いの伝え方」などを学んでいただきました。

そして今回は実際に事業をスタートしてから重要になってくる“お金の話”について、大阪信用金庫の職員より講義をさせていただきました。



売り上げも利益も伸びているのに 会社がつぶれることがある！？

どんどん売り上げが伸びていて利益も出ているような企業は、まず安泰であると言えるでしょうか？実はそうではありません。

毎月のキャッシュの出入りをきちんと管理しておかないと、途中で現金が尽きて事業が立ち行かなくなることがあるのです。

講義の中では実際に計算をおこないながら損益計算書や資金繰り表を作成することで、財務のイメージを理解いただきました。

今回のキーワード

損益計画と資金繰り表

「損益計画」と「資金繰り表」。どちらもお金を管理するものですが、一体なにが違うのでしょうか。

損益は納品や検収、サービスの提供完了といった経済的事実が発生した時点で計上され、一定期間内の企業経営の実態を評価するのに適しています。

一方で資金繰りの考え方は現金主義です。実際の入金、出金の動きを掴むことで、どのタイミングで資金調達をおこなう必要があるのか？という判断をすることができます。

